

かんらの翼

つばさ

甘楽中学校通信 平成 29 年 9 月 5 日(火)

〒370-2213 甘楽町白倉 1411 校長 瀬間 一正

URL: <http://www.nc.kanra-jhs.gsn.ed.jp>

Tel 0274-67-0055 Fax 0274-67-0056

2学期最初の学校朝礼がありました。夏の甲子園大会を見て感じたことを生徒に伝えました。

春夏通算の投手としての勝利数は誰が記録を持っているのか知っていますか。これは 20 勝あげている PL 学園の桑田真澄という投手です。私は何年か前にこの桑田投手の講演会を聞きました。そのときの話の中でいくつか印象に残っていることをお話しします。

甲子園で 20 勝あげるといことはすごいことですね。1 年の夏、2・3 年の春夏とすべて出場し、勝ち上がっていかないとそんな数の勝利数はあげられません。さらに桑田投手は通算でも 6 本の本塁打を打っているのですから、すごい選手であったのです。桑田投手は高校時代はストレートとカーブしか投げなかったというのも有名な話です。プロに入ってからも 173 勝もしています。しかし、桑田さんは自分の人生を振り返ると「挫折」の連続であったと言っていました。

桑田投手は、1968 年 4 月 1 日生まれです。勘のいい人は気づいたと思いますが、4 月 1 日生まれということはその学年の中で最も生まれが遅いということです。ですから桑田さん自身が言っていたが小中学校時代は勉強はできなかったそうです。これが最初の挫折ですね。

でも、桑田さんは中学で努力をすることを覚えました。今まで特にコンプレックスだった勉強。小学校 6 年間勉強がダメ。そのブランクは大きく、中学に入るとますます授業の内容が分からなくなったそうです。さまざまなクラスメートや教師にわからないところを聞く。いきなり高得点を狙うのではなく、最初は 10 点、次は 20 点アップ、学年順位最下位からの上へ目指す挑戦だから成功するのは比較的簡単なんだそうです。実現しやすい小さな成功を積み重ね「ひょっとしたら俺でも勉強やれるんじゃないか？」とだんだん自信をつけていったそうです。野球部の練習もあるので勉強する時間はあまりありません。そこで、勉強の仕方は授業中におもいっきり集中し、休み時間に宿題を済ませ、夜寝る前に 1 時間その日やったことの復習をする。そして素振り 30 本、という毎日であったそうです。

次の試練は、高校に入学したときでした。それは清原選手との出会いであったそうです。2 人は中学時代はリーグが違うことから同じ大阪に住んでいたにもかかわらず、一度も対戦したことがありませんでした。初めて清原選手と対面し握手した時に見上げた清原選手のデカさ！同級生でこんなに大きい人は見たこともなかったので、さすがに驚いた。それでも体が大きいだけで、動きはさほどでもないだろうと思っていたが、清原選手のバッティングを見せられ、さらにショックを受けてしまう。10 本中 8 本がフェンスをはるかに高く超えるホームラン。ゴーン！！という聞いたこともない打球音。そして当時ピッチャーをやっていた清原選手から投げ出される球、あの巨体で高い位置から振りかぶって放たれる強力な力強いストレート！桑田さんはすべてでかなわないと思ったそうです。

PL 学園に入ると体格も大きく実力も桁違いにあるチームメイトたちに圧倒され、ピッチャーもおろされ、失望の日々を送りました。当時野球部は寮生活を送っていました。ある日、母に泣きつき「俺、もう辞めたい。寮から俺を引き取ってくれ。連れて帰ってくれ」と。しかし、母は「あんたはあんたらしく頑張ればいい。決して諦めてはだめ。」と言われてしまう。桑田選手はそれからある「裏の努力」を始めたそうです。それは 1 日 5 分の裏の努力です。1 日 1 つ便器をピカピカに磨く、草取りをする、

上履きや靴をきれいにそろえるなどでした。それも誰にも気づかれないようにやったそうです。これらはどれも野球の技術アップにはつながらない別の努力ですね。一見何の結果にも結び付かない無駄と思われるような努力が実を結ぶのは1年の夏からです。大阪大会の4回戦の吹田高校戦、試合前まで弁当配りやバット運びをしていた1年生桑田の公式戦先発デビューがきゅうきょ決定しました。試合前、上級生は、「ああ、もう負けや、三年間の高校野球は終わった」と言っていたそうです。この試合、清原選手が公式戦初本塁打で桑田投手を援護、桑田投手は相手打線を散發2安打に抑え、完封しました。結果で上級生を黙らせた桑田投手の快進撃がそこから始まるのです。そして、甲子園で決勝では横浜商業高校を3-0と下して優勝を飾り、学制改革以降最年少優勝投手(15歳)の記録を立てたのです。チームに支えられていたからこそ成し得た偉業です。もちろん普段の努力、行いの良さが「幸運」を招いたのかもしれませんが。そして何よりも実力ある良きチームメイトに支えられていたからこそできたのでしょう。日々桑田投手が行う「裏の努力」をチームメイトは見ていたのではないかと思います。その「裏の努力」によってチームメイトの信頼を得たことも大きかったのでしょう。

桑田さんは「表の努力」つまり野球の技術を磨くことと「裏の努力」を高校3年間やり続けたのです。「裏の努力」は1日5分だけだそうですが、ずっと続けたそうです。

桑田さんは、何でも表と裏の2面があると言っていました。皆さんがみな桑田さんようにはなれません。でも一つ一つの挫折を自分の努力でその都度克服してきた人の言葉には本当に重みがあると思いました。



☆避難訓練 (9/4)

9月4日(月)5校時に、地震の発生を想定した避難訓練を行いました。生徒たちは、素早く冷静に行動し、適切な避難行動がとれていました。万が一、大きな地震が来たときはどう行動するか、常に学校にいるわけではありません。家族でも対策を話し合ってください。



☆Jアラート対応

8月29日は、Jアラート対応でご迷惑をおかけしました。メール配信に不具合があり、適切な時間にメールが配信できませんでした。今後、同じような状況の場合、学校Webページの「緊急連絡コーナー」をご覧ください。

☆学校webページのアドレス(URL)が変わります

甘楽中学校のホームページのアドレスが変わります。ホームページそのものは変わりません。よろしく願いいたします。2学期も充実した内容となるようこまめに更新していきます。詳細は後日！！

☆2学年の職場体験学習

9月6日(水)・7日(木)の2日間、2学年の職場体験学習が行われます。職場によっては保護者の方にも送迎等でご協力を賜ります。よろしく願いいたします。